

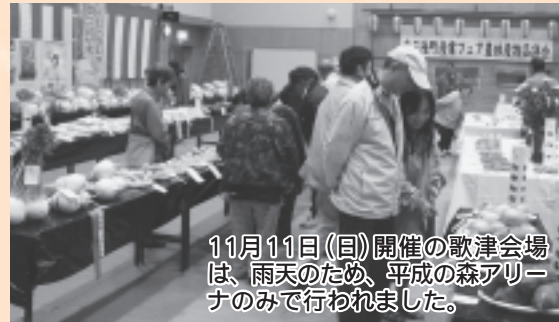


志津川会場は、11月4日(日)に志津川魚市場で開催されました。

8種類の鯛が並ぶ大鯛国技館が大好評！家族などで鯛を楽しむ姿が見られました。

南三陸町産業フェア

「第3回南三陸町産業フェア」が2会場で開催されました。会場には新鮮な旬の食材を買い求める買い物客でにぎわいました。



11月11日(日)開催の歌津会場は、雨天のため、平成の森アリーナのみで行われました。



海に出た神輿を防波堤で出迎える伊里前獅子舞

伊里前地区 6年ぶりの秋祭り

10月20日(土)、21日(日)の2日間、三嶋神社秋季大祭が6年ぶりに開催され、伊里前地区は秋祭り一色となりました。

通りをジグザグに歩いたり激しく前進や後退を繰り返す「暴れ神輿」を先頭に、4頭の「伊里前獅子舞」と打ちばやしをかなでる「太鼓屋台」、「樽神輿」や「子ども神輿」などが列をなして伊里前地区を巡行しました。

この祭りは通常4年毎に行われるもので、今回は平成23年(2011年)の予定です。

※表紙には、海上神輿渡御のようすを掲載。



にぎわう「おさかな通り」

11月18日(日)、水産関係の店が並ぶ南町、本浜、十日町の町道沿い商店街で、「志津川おさかな通り大漁市」が開催され、買い物客でにぎわいました。

会場内に設けられた「ふれあい広場」では、熱々のカキ汁を食べたり、珍しいクチバシカジカの水槽が展示され多くの人に関心を寄せていました。

軒下に並ぶ旬の魚介を品定め



交響楽団を伴奏に校歌をうたう入中生

オーケストラと校歌を共演

11月12日(月)、入谷中学校を会場に大阪シンフォニカー交響楽団の演奏会が開かれ、生徒や地域の人たちが、迫力あるプロの生演奏を満喫しました。

総勢70人の交響楽団は、はじめに有名な旋律が満載の「パールギェント」から数曲を演奏。その後、代表生徒による指揮体験と、オーケストラの生伴奏に校歌をうたうなど、生徒たちにとって貴重な体験ができた演奏会となりました。

会場いっぱい多彩な作品を展示

10月27日(土)から29日(月)の3日間、志津川公民館を会場に「第3回南三陸町町民文化祭・展示の部」が開催されました。

会場には、サークル活動の成果や、個人が余暇などを利用して制作した作品がたくさん展示され、訪れる人の目を楽しませていました



手作りの力作が並ぶ会場



愛車で元気に走行する子どもたち

声援を受けて子どもたちが元気に疾走

11月3日(土)、第10回たつがねMTB(マウンテンバイク)平成の森ジュニアカップが平成の森総合運動場特設コースで開催されました。

未就学児から小中学生65人の少年少女ライダーが、各種目に分かれ出場。家族の声援を受けながら、子どもたちはコースを元気に走り抜きました。



入谷打囃子などが披露されました

里山の秋祭り

10月28日(日)、ひころの里を会場に「ひころの里秋祭り」が開催されました。

会場にはたくさんの行楽客が訪れ、地元食材のいも煮などを味わいながら秋の休日を楽しみました。

数え700歳

3度の食事は家族と一緒に

小野寺長東さん

満99歳を迎えた小野寺長東さん(◎綱木沢)に、11月2日(金)、町から白寿のお祝い金などが贈られました。

明治41年(1908年)11月3日に生まれた小野寺さんは、戦時中は海軍で戦艦長門に乗船したり、戦後は養蚕業を営み、本吉郡養蚕連合会会長を務め、昭和39年(1964年)からは旧志津川町の町議会議員を2期務めました。

16年前に他界した妻はる子さんと、5人の子どもを育て、孫11人、ひ孫11人と家族にも恵まれています。

現在は、7人暮らし。耳が少し遠くなりましたが、家の中を自由に歩き、たいいていのことは自分ひとりでします。普段は自分の書き留めたものを読み返すなどして過ごしています。

3度の食事は家族と一緒に同じ物を食べ、また午前10時と午後3時の“たばこ”も欠かしません。特にケーキなど甘いものが好物です。

家族の皆さんは、「大病もせず元気でいられるのは、軍隊生活などで体を鍛え、とにかく大好きだった養蚕で汗を流してきたことでしょう。」と話していました。

これからもますますお元気でお過ごしく下さい。

